

# 東日本大震災と私

作成者 T.K4

## 1, 地震当日 2011. 3. 11 の私の体験

3月11日私は普通通りに学校に行っていた。その日はバイキング給食でみんなおなかがいっぱいだった。わたしの隣の男の子が「ゆれてる？みんな机の下にもぐれ！」と言ってみんなで机の下にもぐった。その後、大きな揺れがきた。泣いている子もいた。揺れがおさまったら、帰りの準備をして体育館に移動した。高校生はいなく、中学生だけだった。私は家が近かったので、すぐに帰れた。

家に帰ると、テレビも暖房もついていなかった。とりあえず、母や父に電話をしてどうしたらいいのか聞いた。そのころはまだ肌寒く布団にくるまって過ごしていた。たまに余震がきた。そのたびに怖くて叫んでいた。夜になる前に懐中電灯やろうそくを探して夜でも明るくなるような準備をした。そうしているうちに母が帰ってきた。母が帰って来てからあることに気がついた。私の家はオール電化だったのだ。そして、明日のご飯が心配になった。母はその日に買い物に行こうとしていたため、冷蔵庫に食べ物がなかった。また、白米もなくご飯も炊けなかった。近所の人にガス釜があり、その日と翌日のご飯を炊いてもらった。ご飯にも限りがあったので、インスタントラーメンを私は食べた。電気もつかなかったので地震の状況などはラジオを聞きながら情報を集めていた。水は止まる前にためておいたので水には困らなかった。その日は早めに寝た。

## 2, 地震後3ヶ月の私の動き

地震が起きてからの3ヶ月間は募金を積極的にやっている。学校や店などでもやっていたのでき気がついたら募金するようにしている。いつ地震が来てもいいように家ではガスコンロや懐中電灯やカップラーメンや電池を常備するようにしていた。被災地の人たちのことを考えて、節電を家でもするようにした。

講演会でも地震のことについて聞く機会が多くなって、地震のことを考えるようになった。

## 3, 今私にできること

夏は暑いけど、設定温度を28度にする。できるだけ窓を開ける。節電のため、家族で1つの部屋にまとまる。できるだけ早めに寝る。食べ物を粗末にしない。募金を積極的にする。

1

I was in the school as usual on March 11. I sat on my seat at about 2:46. It was resting

time. Then, electricity went off and came back. And a small shake came. I felt terrible. That continued long time. Electricity disappeared at once and the power failure occurred.

Neither the television nor heating were useable when I returned to the home.

2

I cooperated to the fund-raising-campaign positively in these three months. The gas stove, the flashlight, instant ramen and the battery were reserved in my home for the next disaster. I saved electricity at home by regarding the people in the stricken area.

3

The preset temperature is adjusted to 28 degrees though it is hot in summer. The window is opened as much as possible. We (family) live in one room for power saving. I will sleep as early as possible. I do not waste foods.

I will cooperate to the fund-raising-campaign positively.